

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事務事業番号 01010101

事業名		総合行政システム改修事業		担当部署	市民生活部 保険年金課			
根拠法令		国民健康保険法						
令和2年度決算額		4,112	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>項目評価</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>総合評価</p> <h1 style="margin: 0;">A</h1> </div> </div>				
財源内訳	国道支出金	3,999	千円					
	地方債		千円					
	その他	113	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		4,112	千円					
決算額		4,112	千円					
人件費		0	千円					
事業の目的		法・制度改正等に対応するため、総合行政システムの改修を行います。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 オンライン資格確認への対応に係る総合行政システムの改修</p>						
実施結果（活動指標）								
		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度		
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						制度改正等への対応が可能となり、事業の目的を達成しているため、「4」とします。
効率性		●						パッケージシステムであり、制度改正対応のための改修に係る費用にはスケールメリットが生かされているため、「4」とします。
公平性		●						すべての国保加入者の利益となるシステム改修であるため、「4」とします。
将来性		●				国が推進するオンライン資格確認によって、マイナンバーカードを保険証として利用可能になるほか、限度額認定証が不要となる等、被保険者の利便性向上が図られるため、「4」とします。		
総合評価		A				本事業については効率的に目的を達成できていると考えており、今後も引き続き、効率的かつ適正な事業の実施に努めていきます。		
特記事項								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06保健事業費

項 01保健事業費

目 01保健衛生普及費

事務事業番号 06010102

事業名		重症化予防事業		担当部署	市民生活部 保険年金課					
根拠法令		国民健康保険法、健康増進法								
令和2年度決算額		146	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 20px;">項目評価</div> <div style="margin-left: 20px;">総合評価</div> </div>						
財源内訳	国道支出金	33	千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	113	千円							
事業費（総計）		2,967	千円							
決算額		146	千円							
人件費		2,821	千円							
事業の目的		健診データより、糖尿病性腎症になり得る未受診者に受診勧奨を行い、医療につなげるとともに、通院患者に対しては「かかりつけ医」と連携して保健指導を行い、腎不全、人工透析への移行を抑制します。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> 糖尿病性腎症になり得る未受診者への受診勧奨について 苦小牧糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、糖尿病未受診者への受診勧奨を、実施しました。 糖尿病性腎症対策に関する勉強会への参加、市民向け講演会の実施について 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和2年度は実施を見送りました。 関係機関との調整について 保健センターや苦小牧市医師会等関係機関と連携し、苦小牧市医師会糖尿病対策委員会に参画するなど情報収集に努めました。 取組の広報・啓発について 苦小牧市ホームページにて広報・啓発を行いました。 								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度			
		受診勧奨（R2年度は速報値）		人	59	96	4			
		糖尿病性腎症対策に関する講演会参加人数		人	0	135	114			
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●							未受診者勧奨の結果、多くの方が受診に至り、医療につながったことから、糖尿病性腎症重症化の抑制に寄与したものと認識しています。
		効率性	●							苦小牧糖尿病性腎症重症化予防プログラムの効率的な運用をするため、保健センターや苦小牧市医師会等の関係機関と連携を密に行い、協議できました。
		公平性	●							対象者全員に勧奨通知を送付後、勧奨後の受診状況を全員確認し、受診確認できない者には確認ができるまで連絡をしました。
将来性	●				糖尿病性腎症重症化の予防には早期発見・早期治療が必要であり、腎不全や人工透析の移行を抑制することで医療費削減にも寄与できるものと考えています。					
総合評価		A				本事業により、糖尿病未受診者の早期受診につながっていると考えており、医療費抑制の観点からも効果があったと認識しています。今後も、質の高い事業を実施できるよう、関係機関との調整を密にし、市民の健康保持増進につなげます。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06保健事業費

項 01保健事業費

目 01保健衛生普及費

事務事業番号 06010103

事業名		就労者の精神疾病予防事業		担当部署	市民生活部 保険年金課																				
根拠法令		労働安全衛生法																							
令和2年度決算額		46	千円	項目評価																					
財源内訳	国道支出金		千円																						
	地方債		千円																						
	その他		千円																						
	一般財源	46	千円																						
事業費（総計）		1,456	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 B</div>																					
決算額		46	千円																						
人件費		1,410	千円																						
事業の目的		労働安全衛生法の適用とならない事業場で就労する国保加入者に対し、労働安全衛生法に規定する「心理的な負担の程度を把握するための検査等」と同等の検査（以下、「ストレスチェック」という。）を実施することにより、就労世代加入者のメンタルヘルスを促進し、精神疾病の発症予防による将来的な医療費抑制と自殺予防を図ります。																							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ストレスチェック希望者の募集について 広報、ホームページ、facebookで周知の上、ドック事業等と併せて募集を行いました。 ストレスチェック事業の周知及び受診勧奨について 当初の募集では定員に達しなかったため、対象と思われる方に受診勧奨を行いました。 結果分析について 申請者全員からストレスチェックシートの回答を得て、「高ストレス該当者」を把握しました。 医師との面談の実施について 「高ストレス該当者」全員に対して、精神科医との面談を実施しました。 																							
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレスチェック申請者数</td> <td>人</td> <td>20</td> <td>49</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ストレスチェック回答者数</td> <td>人</td> <td>20</td> <td>46</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>医師との面談実施者数</td> <td>人</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	ストレスチェック申請者数	人	20	49	-	ストレスチェック回答者数	人	20	46	-	医師との面談実施者数	人	3	1	-
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																					
ストレスチェック申請者数	人	20	49	-																					
ストレスチェック回答者数	人	20	46	-																					
医師との面談実施者数	人	3	1	-																					
項目評価		高 → 低		評価の理由																					
		4	3	2	1																				
有効性			●			自身のストレスレベルを認識し必要に応じて医学的見地からも助言を得ることができました。今後はより多くの方にメンタルヘルス促進の重要性を伝え、その一助となるよう努めてまいります。																			
効率性			●			当初の募集で定員に達しなかったことから受診勧奨を行うため、対象者選定等の対応を行いました。																			
公平性		●				労働安全衛生法の適用とならない事業場で就労する国保加入者に対し、同法に準じたストレスチェックを実施できました。																			
将来性		●				今後も就労世代加入者のメンタルヘルス促進は重要であると考え、精神疾病の発症予防、将来的な医療費抑制に寄与できるものと考えております。																			
総合評価		B				被保険者の健康保持増進のためにはメンタルヘルスの推進も重要であることから、勧奨も行いましたが、申込者は定員に達しませんでした。 令和3年度も受診勧奨等を含めて事業の周知を図り、受診者増に努めてまいります。																			
特記事項																									


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06保健事業費

項 02特定健康診査等事業費

目 01特定健康診査等事業費

事務事業番号 06020104

事業名		プレ特定健診事業		担当部署	市民生活部 保険年金課					
根拠法令		国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法								
令和2年度決算額		1,561	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 20px;">項目評価</div> <div style="margin-left: 20px;">総合評価</div> </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold; margin-top: 10px;">B</div>						
財源内訳	国道支出金	1,489	千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	72	千円							
事業費（総計）		2,266	千円							
決算額		1,561	千円							
人件費		705	千円							
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> ・青年のうちから糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防します。 ・対象は30歳～39歳です。（特定健診の対象は40歳～） 								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> 1 実施内容について 検査内容、費用については40歳以上の特定健診対象者と同様に実施しました。（自己負担額無料） 2 対象者について 苫小牧市国民健康保険加入の30～39歳の方にプレ特定健診受診券を送付しました。 3 保健指導について 保健指導対象者への指導の機会を確保しました。 								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度			
		対象者数（R2年度は速報値）		人	1,667	1,030	995			
		受診人数（R2年度は速報値）		人	175	127	136			
		受診率（R2年度は速報値）		%	10.5	12.3	13.7			
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性		●						対象者全員に受診券を送付し、健診受診により健康保持増進に有効な事業ですので、今後も健診の重要性を発信するなど周知に努めてまいります。
		効率性	●							保健センターや苫小牧市医師会等との関係機関の協力のもと、特定健診と同様の内容を同じ期間で実施することができました。
		公平性	●							対象者である国保の30～39歳全員へ受診券を送付しました。また、健診の結果、保健指導となった対象者全員へ保健指導の案内を送付し、指導の機会を提供しました。
将来性		●			若年の30代から健診受診を習慣化させることで、早期発見・早期治療ひいては医療費抑制にも寄与できる事業ですので、健診が定着するよう今後も対象者への案内を工夫するなど普及啓発を継続していきます。					
総合評価		B				本事業は、評価のとおり効果的な事業を実施できましたが、今後も市民の健康保持増進のため、費用対効果の高い方法で事業を実施していきたいと考えています。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06保健事業費 項 02特定健康診査等事業費 目 01特定健康診査等事業費 事務事業番号 06020105

事業名		特定健診受診者がん検診無料事業		担当部署	市民生活部 保険年金課						
根拠法令		がん対策基本法									
令和2年度決算額	2,918	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	1,500	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	1,418	千円								
事業費（総計）	3,623	千円									
決算額	2,918	千円									
人件費	705	千円									
事業の目的	<p>国保加入者のうち罹患数が多い胃がん、肺がん、大腸がんの早期発見を目指します。 対象は特定健診受診者または特定健診項目を満たす健診結果提供者とし、がん検診受診料の助成を行います。</p>										
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>特定健診とがん検診を別々で受診した場合や、特定健診項目を満たす健診結果を提供した場合、市が実施する胃がん、肺がん、大腸がん検診の受診費用を助成しました。</p>										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度					
	申請件数 胃がん（タダとく健診含む）		件	1,008	1,154	553					
	申請件数 肺がん（タダとく健診含む）		件	2,188	2,458	940					
	申請件数 大腸がん（タダとく健診含む）		件	1,649	1,903	799					
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●				がん検診の実施により、がんの早期発見、早期治療につながっているとの声もあることから、効果の高いものと考えています。					
	効率性	●				特定健診とがん検診をセットにしたタダとく健診の実施を継続し、同一医療機関で受診した場合は、自己負担することなく効率的な受診をすることができます。					
	公平性	●				苫小牧市国保の特定健診対象者全員にタダとく健診の案内を送付しています。健診希望者への受診機会及び、自己負担の実質無料化など受診者に同様の体制を確保しています。					
将来性	●				タダとく健診の認知が今後広がっていくことにより、がん検診の件数も増加するものと考えており、医療費抑制の観点からも将来性の高いものになっております。						
総合評価	A				タダとく健診が始まったことにより、がん検診の件数も増加し早期発見、早期治療につながっていくものと認識しております。今後も多くの方に受診していただけるよう、事業を実施していきたいと考えています。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07基金積立金

項 01基金積立金

目 01国民健康保険事業基金積立金

事務事業番号

07010106

事業名		国民健康保険事業基金積立金		担当部署	市民生活部 保険年金課		
根拠法令		苫小牧市国民健康保険基金条例					
令和2年度決算額		80,670	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	99	千円				
	一般財源	80,571	千円				
事業費（総計）		80,670	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>			
決算額		80,670	千円				
人件費		0	千円				
事業の目的		国民健康保険事業の健全な運営に資するため、前年度の決算剰余金や基金運用による利子を積み立てます。					
事業の内容 SDGs17の目標		<p>令和元年度末基金残高 1,103,433,110円 令和2年度基金積立金 80,669,579円 令和2年度基金取崩し額 52,874,033円 令和2年度末基金残高 1,131,228,656円</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		基金の年度末残高		千円	1,131,229	1,103,433	967,213
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				北海道へ納付する事業費納付金分の税収を確保できない事態となった際に、基金を保有していることで被保険者負担の急増を緩和することが可能であり、「4」とします。	
効率性		●				基金の管理は最小限のコストで実施できていると考えており、「4」とします。	
公平性		●				基金の保有は、国民健康保険制度の安定的な運用につながり、すべての被保険者の利益となることから、「4」とします。	
将来性			●			引き続き一定程度の基金の保有は必要と考えますが、共同保険者である北海道の今後の方針を見定める必要があり、「3」とします。	
総合評価		A		平成27年度以降は収支不足による基金の取り崩しはありませんが、今後も安定的な制度運営のため、適正に基金を管理します。			
特記事項							